

もしかしたら、私たちの誰かはある日、東洋美術館を訪問した際、アラビア文字で書かれた芸術的な書画の前に立ち止まったことがあるかもしれません。あるいは、なんらかを通してアラビア文字と装飾で彩られた書画に目を向けて、僅かに熟考して立ち止まったことがあったかもしれません。そのような経験がなかったとしても、この本の表紙に描かれているものが、この芸術への好奇心を膨らませたことでしょうか。それでは、昔のアラブ人や幾人かの現代人が創り出したこの装飾や模様、洗練された芸術、そしてこの種の芸術美の秘密は何なのでしょう？他の言語ではほぼ見出すことのできない、このアラビア書道という特殊な芸術を際立たせているものは何でしょうか？

الخَطُّ الْعَرَبِيُّ

アラビア書道

アラビア書道、残り
続ける文化



LAUNCHING
CURIOSITY
JUST SCAN IT!!





光り輝くマディーナの預言者マシッド正面の壁に、イスラームの使徒の名前と敬称が書かれています。

アラビア書道は、アラブ地域と世界の視覚芸術分野において高い地位を獲得しています。そして東西の天才的芸術家たちの注目を集めました。

ムスリムたちは、アラビア書道のなかに際立った芸術的美しさを表現する手段を発見し、マシッドや円形ドーム、城などの装飾に加えて、様々な種類の岩石、お皿、貨幣、金の装飾品、さまざまな種類の絨毯や皮にも描いていったのです。

アラビア書道はウマイヤ朝(662-750)とアッバース朝(750-1517)の二つの時代に大きく発展しました。この二つの時代、アラブ人は世界のさまざまな人種と交流したことにより、様々な種類のアラビア書道の書体が出現したのです。すべての種類にはそれぞれの書法があり、決まったルールや基準に則って、専門家と師たちから伝授されていました。

イスラーム建築において、アラビア書道の美しい装飾は芸術の一部でしたが、文字の模様は特定の目的のために用いられました。たとえば、いくつかの書法は読むことが難しく、常に立ち止まって見る人の背丈よりも高い上方に書かれます。それはムスリムにとって守護された神聖なクルアーンの筆記であり、記号的な書かれ方をします。その点では人が読むためのものというより、創造主に宛てて書かれたものとする言えます。ムスリムが壁や柱、ドームに描かれたその文句と装飾の曲線、絡み合う模様の秀逸さを見ると、記憶のなかに暗記されていた内容が繰り返されます。

それにより純粋な熟考の状態に入りますが、これはアラビア書道のもっとも重要な役割の一つです。

この壮麗さを証明する例として、たとえば西暦685年に建造された岩のドームがあります。その建築物はスルス書体で書かれた模様で飾られていて、クルアーン夜の旅章冒頭の8節が含まれています。その諸節は、偉大なアッラーの預言者の一人が、その建築物のある地から昇天をとおして、地上と天上をつないだ壮大な物語について語っています。

このような書画は、有名な画家であるピカソの感情を動かしました。彼は言いました。

「視覚芸術における頂点に到達することを望みましたが、イスラームのアラビア書道はずいぶん昔に私の先を越していたのです。」

そのような書画や絵に何が書いてあるのか意味が分からなくても、あなたの感情を動かし、その美しさを心の中で味わったことがあるのではないのでしょうか。それでは、これらのアラビア文字の意味を知るのはどうでしょうか。知らなかった秘密や知るべき重要な文化についての発見があるかもしれません。



685年に建造された岩のドームマシッド